

■防災マニュアルの構成例

項目	内容
0 マニュアル作成にあたっての留意点	防災マニュアルは、非常時の基本的な「行動指針」である いろいろな災害を想定することが大切 人命の安全確保を最優先することが大切 地域貢献の視点が大切 簡潔明瞭なものとする
1 災害時の組織体制	役割分担 災害対策本部の役割 非常時でも参集可能な構成任務の確認 顧客への対応
2 情報の収集と提供	情報収集する内容 さまざまな通信手段の確保 情報の一元化 社内連絡や近隣企業との日ごろの連絡体制
3 緊急連絡網	緊急連絡網の作成と更新 緊急動員の職員指定 現地以外の窓口確保 テナント間の連絡
4 応急救護、初期消火、避難等	人命最優先 避難場所・参集場所の周知 二次被害の防止 近隣企業・来訪者・家族の救助活動
5 復旧	操業再開のための基本条件の設定 復旧作業のためのスペースを想定 同業他社との支援体制の確立 社会貢献の内容確認
6 災害予防対策	日ごろの安全管理 非常持出品の準備 非常用品の備蓄 定期的な点検
7 防災の訓練・教育	防災マニュアルの理解 定期的な防災訓練

参考：事業所のための『防災マニュアル』作成の手引き（平成10年 旧居留地連絡協議会）